

平成27年度夏休み親子薬草教室

平成 27 年 8 月 26 日

8 月 26 日（水）の午後 1 時より、本学中野キャンパスの生物実習室で昨年に引き続き 2 回目の「夏休み親子薬草教室」を開催いたしました。この会の目的は、薬草として利用されている植物が、日々、身近でも見られることを知っていただくことと、薬草や薬に対して関心を高めてもらうことです。当日は台風の接近で雨になったにも関わらず小中学生 18 名を含む 34 名の参加者があり盛況でした。中野近辺で見られる薬草の紹介のあと、薬草の葉で葉脈標本を作ったり、帝京薬用植物園で採取した薬草の押し花（あるいは押し葉）で「薬草のしおり」や「薬草の押し花アート」を作ったりしました。参加者から「とても楽しかった」というお言葉を沢山いただきました。



参加者の作品（押し花のしおり）



参加者の作品（押し花標本）



参加者の作品（押し花アート）



親子薬草教室の様子

第 3 回区民講座

平成 27 年 11 月 28 日

11 月 28 日（土）中野キャンパスにて薬学部と中野区薬剤師会の共催による、第 3 回区民講座を開催いたしました。

第一部は、薬学部 小川裕子准教授より『毒と薬は使しよう』という主題で講演がおこなわれました。ヘビの毒から高血圧の治療薬、またトカゲの毒から糖尿病の薬が作られること、反対に安全とされていた薬から重大な薬害が起きたことについての詳細な説明がおこなわれました。毒とされているものでも体に良い効果を及ぼすものもあれば、どんな薬でも使い方を間違えると『毒』になってしまうことを学ぶ貴重な機会となりました。

第二部は、昨年に引き続き、中野区薬剤師会による『お薬相談』が実施されました。学生ホールに設けられた相談ブースでは、参加者が日頃使用するお薬に関して、熱心に相談がおこなわれました。学内外より多数の方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。



小川 裕子准教授



お薬相談の様子